

みんなあつまれ、あいりんっ子！

そつぎょうせいのためのクリスマス

とき 12月16日(土)10:30～12:00

ところ あいりんようちえん(ホール)

幼稚園にみんなであつまろう

- ♪ なつかしいページェントを思いだそう
- ♪ クリスマスのうた・讃美歌を歌おう
- ♪ マザーグースのみなさんの歌声を楽しもう
- ♪ 久しぶりに会った友達や先生とおしゃべりしよう

みんなで作るクリスマス会です

楽器を合奏しよう

- ・去年と同じページェントのなかの曲です。ピアノ、リコーダーなどのほか、得意の楽器があれば演奏しましょう。
- ・楽譜がない人は取りにきてください。(遠い人にはお届けの方法を相談しましょう。)
- ・練習と打合せは当日の朝だけです。9時30分からはじめます。
- ・担当は園長、梶野先生です。

ページェントをしよう

- ・幼稚園でしたページェントをやります。
- ・やってみたい役を電話などでお知らせください。こちらから役をお願いすることもあるかもしれません。
- ・練習と打合せは当日の朝だけです。9時30分からはじめます。
- ・担当は鈴木仁美先生、田久保先生、濱田先生です。

楽器とページェント両方をするのはむずかしいです。どちらかにしましょう。もちろんどちらもやらなくてもいいから、みんなきてくださいね。

1・2年生のお母さん方へお願い

毎年小学校1・2年生のお母さん方に、お茶等の用意をいただいています。お菓子やその他の品物の用意は幼稚園でいたします。当日のお世話についてお願いです。開会30分前においでいただければ助かります。

*クリスマス会後にお茶とお菓子を用意していますが、アレルギーのある方は、対応が難しいため個々にご準備をお願いいたします。

大きい卒業生のおうちの方へ

お子様が就職・結婚等でご実家から転居されている時には、是非、愛隣幼稚園まで連絡先をお知らせください。(Tel.043-251-6395 担当は進藤先生です)

— 今年の園だよりから —

対話という方法で

2017年10月

幼稚園のモミの木の下のアイビーはもうそろそろ10月になろうというのに、若い緑色の葉が目立っています。幼稚園の裏の木蓮にも随分目立つ大きさで蕾がついています。私の家のムスカリは夏休みの間に葉を伸ばし始めてしまいました。「なんだかいつもと違うんだけど・・・。」と木々や草花が唸っているようです。

そんな不思議な秋の始まりですが、園庭にはいつものように白線が引かれ、ふくろう組はリレーの練習をはじめました。楽しそうに走っていた子どもたちの顔が、真剣な表情に変わりつつあります。5歳、6歳の子どもたちのこんな表情に出会えるなんて、私たちは幸せです。そんなふくろう組で先日あった出来事です。

その日は引き渡し訓練の日でした。「せんせい、こんどはミサイルがとんできたときに、にげるれんしゅうもしないでだめだよ。」そう言われて、担任はすぐに返す言葉がなかったようです。その後、子どもは紙にきたちょうせん、きらい><きたちょうせん、ぱか>と書いていたそうです。それを見て担任はさらにショックを受けました。子どもには自分の思うことを話してみたが、ちゃんと伝わったろうかと心配になっている、そう言って保育後にこの出来事を私に話してくれました。私も衝撃を受けました。子どもたちがミサイルが飛んでくると口にする。<北朝鮮>という国を知らない年長の子どもたちが、理由もなく嫌悪する言葉を口にする。私たちの国の状況、大人の世界を子どもに隠すことは出来ません。そして大人の世界を鏡のように子どもたちは映し出すのです。悲しい気持ちになりました。そして、子どもたちに伝えるべきことを大人はいつも問われているのだと、強く思われました。

子どもたちには2月の創立記念日の前後にある礼拝で、必ず「愛隣幼稚園は戦争が嫌いです。」と伝えていきます。私たちは愛隣に繋がる子どもたちと大人たちに、伝えていきます。「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい。」それが「愛隣」です。それを当たり前のこととして、そして大事なこととして伝えていきます。たんぼ組は9月になってもまだまだトラブルは日常茶飯事。「とられたあ〜」「たいたあ〜」「いたい〜」泣き声は毎日のように聞こえてきます。先生「どうして、取っちゃたの？」子「つかいたかったの。」先生「そう、そしたら黙って持っていかないで、お話しできたらよかったね。」先生「それから、叩いちゃうのもどうかなあ・・・痛かったみたいだよ。やっぱりお話しした方がいいね。」私たちは言葉というコミュニケーションの道具を持っていて、これを使うと問題は平和的に解決することができると、子どもたちに伝えます。そして年長になる頃には、仲介者（先生）がいなくても解決できる子どもたちになります。“ミサイル”を飛ばさなくても“対話より圧力”なんて手段に訴えなくても、大人なんだから本当は平和的に解決できるはずですから、今起こっていることは、子どもに説明できません。また、愛隣の子もたちは、私たちひとり一人はみんな違っていると知っています。（知るようになります。）顔が違う、身体が違う、好きなことが違う、考えていることも違う。でも、私たちはひとり一人大切な仲間です。出会った当初、違いはトラブルの原因になります。しかし言葉を交わし、想像力を働かせ、互いをわかろうとするようになると、仲間の違いを受容できるようになります。自分の違いを尊重される（君は大事と言われる）と、自分も仲間を尊重できるようになるのです。そして本当に解決しなければならない問題が、どこにあるのか考えられるようになっていきます。私たちは皆、違うのです。それが大前提です。だから、相手を知ろうとする努力・対話を怠っては真の他者理解には至らない。相手の文化や歴史を知り、衝突の原因を明らかにし、互いを尊重しながら平和的な解決を目指したい。子どもたちには表面に見えている事実だけでなく、見えていない真実に目を向けられる大人になってほしいと願っています。「きらい」と思うその相手の真実の姿を知ろうとすることから、「平和」が始まる。「きらい」と書いたその国の多くの人は困窮の中にいることを私たちは覚えていたいと思います。そしてひとたび戦争が起れば、何処の国であれ犠牲になるのは戦争を望まない市民であることも。私たち大人は子どもたちに、世界中の人々は仲間になることができると伝えていきたいのです。それが仲様の望まれている世界です。

卒業生のための園だより

愛隣幼稚園の役割

卒業生の皆さんにお届けするこの園だよりが「第25号」となりました。第1号が発行された年に小学校1年生だった人たちは今年31歳になっています。今年初めてこの園だよりを受け取る人たちは7歳ですから、25年の時間の長さを感じます。この25年の間、愛隣幼稚園にもいろいろなことがありました。園舎が新しくなったり、園長が変わったり。ランチデーや、「ただいまルーム」（預かり保育）も始まりました。幼稚園にやってくる仲間も増えました。「つぼみ」（未就園児の親子）や「あいらんひろば」（0歳からの親子）の仲間たちです。子どもたちがそれぞれに楽しいことを見つけ、仲間になって、活き活きとその人らしく生活する幼稚園、みんな違っていることをいいね！といえる幼稚園に、今は0歳から大人までがその仲間になっています。25年前の幼稚園と今の幼稚園は、社会の中での果たす役割が大きく変わってきていることもこの変化の要因です。しかし私たちはむしろ“愛隣らしく”幼稚園の果たす役割を変化させていきたいと考えています。地域の中で共に暮らす赤ちゃんから大人まで、誰もが笑顔になれることを考えながら、もっと楽しい幼稚園に変化していきたいと思っています。・・・そんなことを考えていましたら、房総双葉学園のことを思い出しました。双葉学園の子どもたちとその職員の皆さんも、この25年の間に愛隣の仲間になりました。正確には9年前の2009年4月、初めて双葉学園の子どもたちが愛隣幼稚園に入園しました。それから毎年、幼稚園にも「つぼみ」にも双葉学園の子どもたちが通っています。入園の時から共に過ごしたひかり組以降の卒業生たちとそのお家の皆さんには、このことは改めてお話しすることではありませんが、それ以前の卒業生の皆さんにも是非、この仲間たちのことを知ってほしいと思います。などと書いている私（園長）自身が、9年前まではこの地域に房総双葉学園という施設があることを知りませんでした。双葉学園は今年創立60周年、今年創立63年目の私たちと同じ時を、この地域で歩んできた施設のことを少し紹介したいと思います。

房総双葉学園は千葉市稲毛区に建てられた児童養護施設であり、現在約40名の子どもたちが暮らしています。子どもたちはみな、様々な理由によって家族と一緒に暮らすことが難しくなり、県内の児童相談所を通じて私たちの学園にやってきます。割り切ることのできない気持ちや傷つき、そして大きな不安を抱えながらやってくる子どもたちに対し、私たちはまず安心して暮らせる生活の場を提供し、日々の暮らしを共にする中で信頼関係を築いていくことを大切にしています。一人ひとりが心と体を成長させ、いつの日か胸を張って学園から巣立っていけるよう、私たちは子どもと共に歩んでいきたいと思っています。

～社会福祉法人 房総双葉学園ホームページより～

幼稚園に通う双葉の子どもたちは、毎朝、施設の職員さんと登園します。お迎えも職員さんです。お弁当も職員さんたちが作ってくれます。子どもたちは幼稚園でいろいろなことを感じたり、考えたりしながら、他の仲間たちと同じように生活しています。愛隣に初めて入園した仲間の将来の夢は「保育士」だそうです。この園だよりを読んでいる中にも同じ夢をもっている人たちがいると思います。夢が叶いますように！生活する環境はそれぞれだけど、どの子も愛隣の仲間だから、同じように夢が叶うことを祈って、そして応援していきたいと思っています。この園だよりを通して児童養護施設に関心を持ってくれる仲間を増やすことも、今の愛隣幼稚園の果たす役割です。

あいりん、この1ねん

2017. 3月 第62回卒業式

今年も愛隣っ子を送り出しました。カンガルー組の36人の仲間たちが巣立っていきました。最後になって仁美先生が怪我でお休みになり寂しかったけど、卒業式には全員揃うことができました。そして、もう一人の担任だった矢内球一先生も愛隣を卒業しました。9年間の在職中、いろいろな被り物(笑)でも子どもたちを楽しませてくれました。今は都賀にある児童発達支援施設で障害のある子どもたちのために頑張っています！

2017. 4月

今年の大い組の名前は「ふくろう組」に決まり幼稚園の新しい1年が始まりました。担任は田久保先生・梶野先生・川村先生です。ばら組は宮越先生・鈴木ひかり先生(新任)・大嶋先生、たんぽぽ組は鈴木仁美先生・濱田先生・野田先生が担任になりました。ただいまルームは岡田先生、つぼみ組は山中先生、西尾先生、他のスタッフは変わらずという職員体制でのスタートとなりました。

～新任の先生の紹介です～

ばら組の鈴木ひかり先生が新しく愛隣幼稚園の先生の仲間に加わりました。で、去年も幼稚園の中にゆき先生が2人になって少しややこしいことになったのに、今年は鈴木が3人になりますますややこしくなりました。(おまけに“鈴木ひ”まで一緒です。)かわいい絵を描く先生です。運動会では野外劇の絵本作りを担当してくれました。

全園児83名(現在86名)と大人たち、今年もいっぱい笑ってよい仲間になります！

2017年の運動会は・・・

2年連続、今年の運動会も雨の予報。それで今年も延期の決定。本来ならば1週間後が延期の日程でしたが、予報を見ると絶望的なマークの行列。そこで今までにはなかった事ですが、翌週の木曜日を延期の日程にしました。当日は暑すぎるほどの好天、そしてたくさんのお家の方にも参加していただくことができ、本当にいい運動会になりました。ただ、残念だったのは今年も卒業生の種目ができなかったこと、そして、特に今年も卒業生が応援に来ることもできなかったこと。来年こそは晴れの土曜日に運動会をしたいと心から願っています！

2017.6月

「あいりんひろば」が始まりました！

毎週月曜日(やってない日もありますが)、幼稚園の園庭と園舎を未就園の親子のために開放する「あいりんひろば」を始めました。登録の必要はありません。都合に合わせて自由に遊びにきていいよ～という「ひろば」です。赤ちゃんもいます。もうすぐ幼稚園の子どもたちもいます。幼稚園で出会う仲間が地域にも広がっていったらいいなと思います。ご近所にそんな親子がいらっしゃったら、是非、紹介してあげてください。担当は村中先生(昨年卒業した村中結音ちゃんのお母さん)と山中先生です。

宮越清香先生、勤続20年表彰！

昨年の地引優子先生に続き、宮越先生が千葉市幼稚園協会の勤続20年表彰を受けられました。にじ組、たいよう組、さくら組、ちきゅう組、くろーばー組、ながれぼし組、そう組、こんなにたくさん卒業生を愛隣から送り出しました。子どもたちが夢中になって楽しんでひとり一人が輝く保育のアイデアはピカいち、愛隣の大黒柱です。

メンテナンスいろいろ

園庭の木製遊具(すべり台)は業者さんにメンテナンスをお願いしましたが、お家やロープぶんこ、巧技台、ウッドデッキ、畑やぶんこの柵の一部などなど、おやじの皆さんには相変わらずお世話になっています。繋がっていったらいいなと思います。お知らせが届いたら是非よろしく